



Harmony

編集・発行 弥彦村教育委員会
TEL(0256)94-1021
FAX(0256)94-3232
〒959-0392 西蒲原郡弥彦村大字矢作 402 番地

弥彦を愛し、夢や志をもってつながりを広げる強くたくましい子

第2回弥彦村教育フォーラム開催！

12月1日（土）に「よりよく子どもが育つ弥彦村を目指して」をテーマに第2回の教育フォーラムを開催しました。今年度も昨年度に引き続き、岐阜県白川村教育委員会の新谷さゆりさんを講師にお迎えし、「地域・家庭・学校が一体となって子どもを育むコミュニティ・スクール」と題してご講演をいただきました。その後、小・中学生が総合的な学習やモンゴルへの派遣を通して学んだこと、弥彦村への願いなどを発表しました。最後に、パネルディスカッションを行い、参加者とともにテーマについて考えを深めました。

今年度は、子どもたちの参加を実現することができました。子どもたち全員が堂々と自分の意見を発表してくれました。子どもたちの姿を見た参加者からは「弥彦の将来は明るい」という声も聞こえてきました。

学校と地域とが「願い」を共有して子どもたちのために活動することが重要です。白川村では「将来の村の担い手を育てる」という願いを共有しています。コミュニティ・スクールにしたことで願いの共有がしやすくなりました。



新谷さゆりさんの講演



パネルディスカッション

小・中学生の意見発表



弥彦村のことをもっとPRすることも大切だと思います。でも、それ以上に、村民が困っている人がいたらすぐに声をかけることのできる村になることも大切だと思います



「困っている人をみかけたら助けてあげる」「お互いがお互いを支え合える」「誰に聞いても笑顔で親切に接してくれる」村になればいいと思います。

【パネルディスカッション】



堀 隆行さん
(弥彦中学校校長)

中学校では、上級生に対して“下級生の手本になるんだ”という意識を高めるように取り組んだ。このことでとても成果が上がっている。村の中でも、大人が子どもの手本になる、大人が子どもとかかわりをもつ、こうしたことがもっと進めば、弥彦の未来は明るいと思う。

先生が正しい、保護者が正しい、だけではなくて子どもの意見もきちんと聞いて、その上で間違いであればそれをただしていくということが大切だと思う。コミュニティ・スクールになったときに、もう少し開けてみんなで情報を共有できるようになるといいと思う。



狩野純代さん
(小中学校評議員)



小野循人さん
(中学校PTA会長)

“人とのつながり”を大事にしてほしいと願っている。PTA会長になったことで出会えた人も多くいた。出会い、つながりが人を育てることを実感している。親同士が関係を深めることが子どもにとって大切だと思う。今後は、多くの人が参加しやすい行事を企画することも必要だと思う。

【参加者から出された“よりよく子どもが育つ弥彦村を目指すポイント”】 (一部)

- 子ども、地域の人が互いに声をかけあえる村、まずはあいさつ 【あいさつ】
- 良い担い手を育てるには良い大人になること 【手本となる大人】
- 地域でも子どもを核とする活動にする。 【地域活動の充実】
- 子どもも大人も共に育つ意識 【共育】
- 子どもが意見を出せる場を設ける。 【子どもが力を発揮できる場づくり】

これからの弥彦村の教育の在り方を考えるうえで、重要になると思われるキーワードがたくさん出てきました。

【参加者の感想】

- 弥彦村にとって刺激のあるお話を聞けました。子どもたちのため、地域のため、村民一人ひとりのために共通の想いでチャレンジしていくことが大事だと思いました。
- 地域の担い手をつくるために、地域、学校、保護者が連携をとって子どもたちを育てる環境づくりが必要だと思いました。
- 「つながる」が目的なのか、手立てなのかで評価が変わってくることに気付きました。住民のみんなが「願い」でつながれるように自分に何ができるか考えたい。
- 子どもたちの活躍する場を村内で増やしていけるといいと思った。社会教育委員の会の交流会に子どもも参加してほしいと思いました。
- 地域や大人の願いを子どもたちにおしつけるのではなく、子どもたちの想いをすり合わせながら活動していくことが大切だと思います。とにかく、コミュニティ・スクールは手段だという意識付けを浸透させることが重要だと思いました。

※次年度も開催予定です。詳細が決まり次第村広報誌などでお知らせいたします。